

デジタル技術・用具の強化活動への実装

背景 | 開発したツールが実装されないことで開発側/NF側のコストが無駄になっている

目的 | ハイパフォーマンススポーツにおけるツール実装化のために重要なポイントを整理し公表すること

ツールの開発・実装PJ(～R7)

用具
冬季ウェアの空気力学的機能向上のための研究

用具
パラアルペンスキー競技力向上のための
用具開発研究

トラッキング
競技特化および簡易計測を実現する
トラッキング技術の研究

AI
AIを用いた戦術分析や戦術トレーニング支援
に関する研究

アプリ
映像及び生体情報を活用した
リモート支援システムの構築

活動の記録

- ニーズ調査
- 設計
- アジャイル開発
- トライアル
- 実装
- 体制整備
- 啓発 …etc

+

ユーザー評価
NF・コーチ・選手等

抽出
整理

実装化の要件

各ツール共通の要件

ツールタイプ別の要件
用具
トラッキング技術
AI
アプリ

実装のための仕様と体制の要件（案）

観点	ツールの仕様要件	観点	実装のための体制の要件
機能性	- ニーズに合った設計であること - 競技パフォーマンスの最適化に資すること	現場の受け入れ態勢	- ユーザーのリテラシーが高いこと - 現場の課題が具体的であること
実用性	- ユーザビリティがよいこと - 実環境で正常に動作すること	実装への働きかけ	- NFの課題感に対応する運用であること - スモールスタートから始めること - 実装前にトライアルの機会があること - ユーザーがツールの効果を実感できること
ツールの評価	- 実装の効果や影響が観察可能であること - 理論と実践のギャップの分析が可能であること - 改善点の特定と改良が繰り返しできること	運用	- 運用コストが現実的なこと - 強化の一環としての運用ができること
実装環境	競技規則等に適合していること		



ユーザー評価
NF・コーチ・選手等



実装要件の定義
HPSC内外で議論



論文での公表
JHPS特集号